

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	animo八女町家		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 26日		～ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8年 1月 26日		～ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性や成長に応じた支援を行い、児童の変化や成長が見られるなど、支援の効果が実感されている。	児童一人ひとりのニーズに応じた個別支援計画の作成と見直しを行っている。	保護者との連携をより深めるため、面談や情報共有の機会を充実させていく。
2	日々の関わりにおいて丁寧な配慮を行い、児童の言動の変化が見られる。保護者からも言動の変化に対するお声をいただいている。	日々の関わりの中で安心して過ごせる環境づくりや、保護者	定期的なケースミーティングや、支援者の質の向上を図るための研修を行う。
3	児童の強みや得意なことに着目し、苦手とすることへスモールステップで挑戦できる支援を行っている。	日々の細かい変化に気付き、言語化して児童に伝えることで、児童も変化に気付き成功体験を詰めるよう支援にあたっている。	支援者側の認識を共有、統一し、児童が挑戦しやすい環境を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動状況によっては室内の匂いがこもるなど、環境面での課題が見られる場合がある。	定期的な換気や空気環境の管理を徹底するとともに、活動内容や人数に応じた環境調整を行い、快適に過ごせる空間づくりに努める。	活動の切り替わりなど、換気の時間を取り決め、児童の安全に配慮した上で、定期的に換気を行う。
2	属人的な支援になる場合がある。	児童が安心して支援を受けられるよう、支援者ひとりひとりが、信頼関係を構築し、属人化のない環境を目指す。	支援者の情報共有の徹底を行う。
3			